

アサマジミとの初の出会いは1974年8月。家族と霧ヶ峰高原を散策し、マツムシソウで求蜜するクジャクチョウを楽しみながら幼児用の背負いバッグ利用で2才の娘を背負い、3才の息子は妻と手をつないでジグザグの遊歩道を車山まで登ったのだが、富士山がわずかに望めた山頂部で初めて捕獲したアサマジミが三角紙標本で残っている。

July 27, 2010 信州ドライブ蝶紀行

7/19の21時出発で信州へのドライブ旅行に出る。7/20は南アルプス村長谷で昨年の樹液ポイントまわりにオオムラサキが飛ぶのを確認。このときは樹液を訪れる個体を確認できなかったが、7/24に再度たちよるときに期待。高遠杖突街道から入笠山へと上る。圧倒的にイチモンジセセリが多い入笠ヒュッテ周辺の草原をウラギンヒョウモンも飛ぶがスレ個体が多い。ヒメキマダラセセリの新鮮♂がいるかと思えばスレた♀もいる。富士見側へと下る途中の見晴らしのいい斜面一帯にヒョドリバナが多く、アサギマダラやギンボシヒョウモンが吸蜜している。ギンボシは新鮮で銀紋がとても美しいが映像記録はとれず。「水神の湯ゆーとろん」で露天風呂を楽しみ、道の駅「信州葛木宿」でParking Camp。

7/21早朝、八ヶ岳鉢巻道路沿いの林道に入って適当に枝葉を叩くとミドリシジミO型♀とジョウザンミドリシジミ♂が飛び出すそれぞれ1個体のみ。木陰から飛び出したクロヒカゲに混じってウラジャノメがいたのは意外。別荘利用者向けの朝市にたちよってブルーベリー狩りもできるという胡桃庵の情報をゲットし、蓼科の横谷峡へと移動。駐車場近くの水溜りにきたミヤマカラスアゲハ♂と乙女滝近くの遊歩道で7月末には珍しいサカハチチョウの春型をみただけ。サカハチ春型は汚損度が高いのでビデオ記録後に放して車山高原へ。期待したコヒョウモンモドキは全くみられず、タイル張り路面で吸水するアサマジミの右羽ボロ個体を撮影記録。駐車場にもどる涼しいトンネル道にスジボソヤマキチョウが舞い込んだりしている。

